

ちむどん沖縄

ちむどん(胸がドキドキ)な
県内の人・モノ・コトを
ご紹介します!

* 今月のテーマ *

離島がアツい!

地域ごとに特色ある様々な魅力や未来への
可能性を秘める、小さな島・沖縄県。

今回は離島でアツく盛り上がるモノ・コトを紹介します。

今年も大盛況!
島々の魅力がつまた『離島フェア』



7割助成で大好評
離島と人の魅力を体感!『島あっこい』



〈与那国島〉草木染め体験後の
記念撮影。

〈伊江島〉馬と海遊び体験中。



〈小浜島〉島の元気なおじいの民謡
ショー&交流会の様子。

〈西表島〉月桃ゼリー作りに挑戦中。



2017年11月17日(金)~19日(日)に開催された
『離島フェア2017』。初日には那覇市立垣花小学校の生徒たちが「離島こども特派員」として会場を取材した。

多くの島々から成る沖縄県。沖縄本島を除く有人離島は39あります。毎年秋には、そんな島ながらそれに晴らしい魅力がたくさんあります。毎年秋には、そんな島々の魅力を感じることができます。

アが沖縄本島で開催され、期間中は10万人以上の来場者で盛り上がります。

島の底力を感じることができます。

離島観光の在り方も変わっていきます。沖縄県が取り組む「島あっこい」事業では、沖縄県民を対象とした離島観光・交流促進を目的としたモニターツアーを実施。意外にも離島に行つたことがないという県民が多い現状を変えるきっかけになりつつあります。同じ沖縄と言えど食べ物や文化、言葉が異なる部分も多く、新しい発見とともに沖縄県の奥深さ、おもしろさを実感する県民も多いようです。

みなさんはいくつの離島を知っていますか。またはいくつの離島を訪れたことがあるでしょうか。ぜひこの機会に離島について触れてみましょう。あなたの知らない沖縄の魅力がまだあるかもしれません。

大好評の島あっこい、今年度の申込み締切も間近! 好評につき、1月末まで追加募集を行います。詳しくは、「島あっこい」で検索して下さいね。



久米島

多方面での活用が期待される 海洋深層水事業



渡嘉敷島ほか

教育格差をなくして 島の子どもたちに明るい未来!

平成26年度から28年度にかけて沖縄県が行った「ICT利活用による離島学力向上支援実証事業」。テレビ会議システムを使い島の子ども達が受講するのは、なんと現役東大生が講師を務める授業! 3町村3島から始まり、3年間で渡嘉敷島、西表島、久米島、座間味島など10島で行われ、多くの離島で市町村事業として継続実施している。

小さな島に大きなパーク 沖島中

小さな島でアツく盛り上がる、 ホットな話題をご紹介します

写真上より、夏場でも元気
に育つ葉野菜、海洋温度
差発電実証設備、贈答品と
しても人気の養殖車エビ。



黒島

島のお嫁さんたちが開催する 愛あふれる手作り市

島に嫁いできたお嫁さんたちが手作りお菓子の販売やネイルケア、雑貨の販売など、自分たちができることを持ち寄って始まった島嫁市。今では石垣島のパン屋さんが出店したり、島外からお客様が訪れたりと、島を代表するイベントに成長、島の活性化に一役買っている。次回は3月末開催予定。

トートバッグにプリントする小学生
やジェルネイルを楽しむおばあちゃん。屋外ライブも好評だった。



離島への興味関心を幼い頃から高めようという県の「沖縄離島体験交流促進事業」では、沖縄本島や離島の小学生が離島に数日間宿泊し、自然や歴史、暮らし、島での仕事について体験する。平成29年度は61校3,700人以上の児童が22離島25地域を訪れる。



池間島ではサバニを、伊良部島ではマンゴーロープでガサミ漁を体験する児童たち。

宮古島ほか

沖縄本島の小学生が離島をまるごと体験

「離島がアツい!」がちむどん!な理由

- 同じ沖縄と言えどあなどるなけれ。沖縄本島内でも各地域で異なる特色があるように、その島にはその島にしかない魅力が必ずある。
- 手付かずの自然や受け継がれる伝統はもちろん、資源を活用した事業や、新しい観光や教育の在り方など、離島の可能性は無限大。
- 人口減少等の課題を抱えつつも、島を盛り上げるために奮闘中の島々。島あっこい事業などを通じて離島の「今」をぜひ体験・応援しよう!

詳しくは [島あっこい](#)

[検索](#)

又は、島あっこい事務局: 098-866-5941 受付時間: 平日9時~18時(土日祝祭日除く)



あっこい!で検索して下さいね。